

山江村議会だより

No.92

まるおか

丸岡公園のツツジ

目次

- 第1回臨時会及び第2回定例会 . . . P2
- 一般質問 P3～8
- 第3回臨時会及び各種研修 P9
- 編集後記「だんだんなあ」 P10

令和6年4月30日発行 発行:山江村議会 編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

令和6年第1回 山江村議会臨時会

令和6年2月9日の1日間、第1回臨時会を開催し、専決処分1件、条例改正等2件、令和5年度一般会計補正予算1件の合計4件を可決しました。

◆ 令和5年度山江村一般会計補正予算（第9号）

質疑

北田議員

物価高騰対策に係る事業は、具体的にどのような事業に充当されるのか。

答弁

企画調整課長

LPガス価格高騰生活支援、保育所の副食費、やまえ生活支援券等に充当している。

令和6年第2回 山江村議会定例会

令和6年3月8日から15日までの8日間、第2回定例会を開催し、令和5年度補正予算6件、発議1件、条例改正10件、令和6年度当初予算7件の合計24件を可決しました。令和6年度一般会計当初予算は43億6千7百万円（前年度▲3億5千9百万円）となりました。

◆ 山江村就学金支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

白川議員

これまでの小学校就学時に加え、中学校入学時も追加支給となるが、その財源は基金も含めての考えか。

答弁

村長

基金は特別な事情の際に活用する。今回の場合は年間120万程度であるため、一般財源で考えている。

◆ 令和6年度山江村一般会計予算

赤坂議員

1. ふるさと応援寄附金の経費率は、50%を超えないよう通達がきているのでは。
2. 就学祝い金の各学校の内訳は。また3万円の根拠は。
3. 山田小150周年記念事業の内容と時期は。

企画調整課長

1. 経費50%以内で見込んでいる。

教育課長

2. 山田小29名、万江小3名、山江中28名。
2. 中学校制服が約6万かかるのでその半額。
3. 内容は検討中、時期は令和7年2月16日。

久保山議員

大王谷の測量設計業務委託について、範囲はどのあたりか。

建設課長

高速道路よりも少し手前の集落のある付近から、河川まで。

横谷議員

栗生産実態調査委託料について、調査の内容、委託先、苗木とか肥料を助成されてから何年ほど経過してるのか。

産業振興課長

内容は、圃場へ出向き栗の生育状況や肥料、選定状況等を調査する。委託先は栗生産者、地区の代表を考えている。苗木補助は平成20年度、肥料補助は平成24年度から実施。令和元年度から3年度にかけて集中的に補助をしている。

本田議員

1. 森林作業道新設補助金について、どのように進めていくのか。
2. 森林環境譲与税は何に使われるのか。
3. 各学校の賄材料費について、どのような買い付けか。

産業振興課長

1. 自伐型環境保全型林業の推進に向けた取り組み。
2. 基金に積み立てし、必要な際林業振興に充てる。

教育課長

3. 米については、見積入札をし、最低価格業者へ発注。

西議員

1. 農村型地域運営組織形成事業、みどりの食糧システム戦略推進の内容。委員は同じか。
2. 山江村文化財等調査実施委託料の調査内容。消防設備の調査は。
3. 球磨川リバイバルトレイルは毎年開催か。

企画調整課長

1. 農村RMOの立ち上げ計画。有機農業への取り組み等を検討している。事業が違うので委員は別。

教育課長

2. 各地を回り、石文化についての調査。消防設備の調査ではない。
3. 今年は11月に開催予定。

白川議員

1. 予防接種について、コロナ予防接種は該当するのか。
2. インフルエンザ予防接種助成金にはコロナ予防接種は該当するのか。
3. 道路除草委託料の増額の理由は。
4. 公有財産購入費の内容は。

健康福祉課長

1. 65歳以上の高齢者、基礎疾患の人について、該当接種もある。

2. 今のところ該当しない。

建設課長

3. 路線及び延長の増加及び労務単価の増。
4. 災害復旧時の土砂仮置場のための土地購入費。



横谷 巡 議員



■ 人吉球磨地域全体の「将来のあるべき姿」は ■ 高齢化社会への対応について

将来の人吉球磨の全体構想について伺う

問

人口減少、少子高齢化は地域全体共通の喫緊の課題であり、地域の低迷と衰退の要因となっている。そのような中、それぞれの市町村個別の対策では限界があるように感じる。

肥薩線、川辺川ダム問題などの大きな課題を含めて、地域が一つになって、将来のあるべき姿のデザインを必要とする時期に来ているように感じるが、村長の見解は。

答 村長

人吉球磨地域が抱える諸課題について、県では各市町村の若手職員二〜三名集めて、将来を考える勉強会が開催され、地域連携に何が必要なのか、農林産物のブランド化の推進、大学の誘致などの意見議論がなされている。肥薩線、川辺川ダム等の大きな課題に

についても、合意、治水安全度の面で未決定のままであり、地域全体の振興策についても総論賛成、各論反対の模様である。ただ、それぞれの市町村では危機感を持ちながら、地域資源を活用した地域づくりへの取り組みが、一歩ずつ進んでいるのが現状である。

高齢者を狙った特
殊詐欺被害防止の
対策を

問

料金未納の架空請求や還付金の電話詐欺など、被害から村民を守る対策は。

答 健康福祉課長

注意喚起や啓発をケーブルテレビ、防災無線で行っている。今後も様々な手段で被害に遭わないように情報提供をしていきたい。

山間地域の安全な道路の維持管理を

問

山間地の生活暮らしに欠かすことのできない道路の安心安全な維持管理は

答 建設課長

定期的な道路パトロールを行い、軽微な補修はその都度対応している。安心安全に利用できるよう整備管理に努めていきたい。

体育スポーツ行事の見直しの考えは

問

村民体育祭、駅伝大会等、出場参加ができない区が多くなってきている。地域の現状を考慮反映した新たな行事の創出はできないか。

答 教育課長

スポーツ行事の見直しについては、多くの意見があり、新たな形をスポーツ推進員等関係者で模索検討したい。



※他に「丸岡公園農村広場の整備について」質した。



久保山 直巳 議員



■ 本村給油所存続における支援について
 ■ 備蓄物資の整備について
 ■ 新寺の下住宅、
 林田団地の消火栓及び
 防火水槽設置について

問

地域において給油所は必要不可欠であり、暮らしにおいて電気、水と同じく大事なインフラのひとつと考える。村として存続における助成金等の支援を考慮しておられるのか伺う。

答 村 長

本当に住民にとって必要なガソリンスタンドであるかということも確認させてもらいたいと思う。そのうえで、当然経済団体に助成金等を出していけないというのではないので、その付近を含めて検討をさせてもらいながら、またJAのほうとも協議をさせてもらいたいと考えている。

問

新聞記事にて妊産婦、乳児用備蓄進まず防災部署「女性ゼロ」6割(地区町

村調査)とあったが、本村の状況及び今後の追加変更等を考慮しておられるのか伺う。

答 総務課長

有事の際は女性4名で対応する、また妊産婦、乳幼児の備蓄はほとんどしていない、令和6年度の予算については補助金の約束をいただいている。中身の変更は可能なので、検討していきたい。

問

寺の下団地、林田団地双方は棟続であり火災発生となると、延焼が危惧される。また、河川防火水利は増水、渇水時に利用できない場合もある。迅速な消火活動が出来るよう、消火栓等の設置にむけた計画が新年度において出来ないか伺う。

答 総務課長

今年度の予算計上執行は困難かと思われる。まずは、分団長を通して要望書の提出をお願いしたい。



林田団地の消火栓は役場敷地内



本田 りか 議員



■ 自転車における 安全対策について

■ 村の情報の伝達方法について

**自転車における
安全対策は？**

問

山江中における自転車通学者数と安全対策や指導方法を伺う。

答 教育長

令和5年度の山江中学校の自転車通学生は32名で、毎年交通安全教室を開催し、駐在所、人吉署の警察官より安全指導を頂き、ヘルメット着用と安全タスキの着用を義務づけている。

問

昨年4月1日よりヘルメット着用が努力義務となっているが、熊本県教育委員会によると、県立高校全日制での自転車通学生ヘルメット着用率が、最も低い3%と着用率が進んでおらず、自転車事故が増えているため生徒の安全を最

優先に考えたとし、来年度より県立学校の生徒については、ヘルメットの着用を義務化すると発表。自身を守るためのヘルメット着用は大切な事だが、物価高騰の中、ヘルメット購入には費用がかかり家計の負担となる為、自転車損害賠償

保険に加入され、更にSGマークなど認定基準を満たしたヘルメットを購入された方を対象とした購入費の一部を補助は出来ないか伺う。



答 総務課長

補助は考えていないが、義務化された場合や村民からのニーズが増えた場合、今後検討する。

**公式LINE導入
の検討を！**

問

情報の伝達方法は、現在どのようなに行っているのか伺う。

答 総務課長

広報、回覧、防災無線、ケーブルテレビなどを使い、村民の方々に情報の伝達を行っている。

問

山江村の公式LINEを取り入れ、気軽に本村の緊急情報や防災情報、様々な申請、予約、アンケート、村民からの質問、また村民が道路の損傷や水道の漏水などの不具合を発見した場合の通報など面倒なく閲覧や操作が可能だが、この便利な公式LINE導入の考えはないか伺う。

答 企画調整課長

色々な媒体で村の情報伝達を行っているが、スマートフォンアプリを活用した伝達方法として、有料、無料版のLINE WORKSを活用し、役員職員のほか区長、情報化推進委員、消防団の分団長、以上の登録を行い、緊急時の情報伝達の確保に努めている。他の自治体の例として、くらしの情報やイベント情報、緊急情報に加え、手続きにも対応した自治体の公式LINEアカウントを導入しているところもあり、SNSを活用し提供するサービスを精査しながら、検討を進めたいと思う。

※他に「子宮頸がん（HPV）ワクチン接種について」質した。



立道 徹 議員



■ 自然災害に対する備えについて

問

自然災害（大雨・台風・地震）があるが、地震だけは予測できない、地震に対する備え（準備）について。

答 総務課長

- 日頃からの備えとして
1. 備蓄・非常持出し品の備蓄。非常時の水・食料の備蓄・非常持出し品の準備。
 2. 周囲の状況確認。普段、通る道に危険箇所がないか確認。
 3. 安全スペースの確保。室内になるべく物を置かない「安全スペース」を作る。
 4. 家具の固定。家具が倒れてこないように固定する。
 5. 連絡手段の確保。災害が発生した時の連絡手段や集合場所。
- ※災害発生に備えるために、家族での話し合いが重要。

問

停電があり、水道が断水、そのような状況の中、まず、水が大切に、食糧も、また、持出し品は、両手が見えるリュックサックに入れる。懐中電灯、簡易ガスコンロも最低必要な備蓄品であるが、最低でも、3日間は自分たちで生き抜く準備が必要であると思うが、行政の立場からは。

答 総務課長

3日間は、食糧の備蓄をお願いしたい。行政の支援もすぐにはできない。行政の支援が届くまで「自分の命は自分で守る」という意識を持って、頑張ってください。

問

自然災害の備えについての啓発（パンフレット等）を、各家庭、壁に掲示できるようにするのはできないか。

答 総務課長

広報・ケーブルテレビ等で現在も梅雨時期前、台風シーズン前に村民の方へ備えをお願いしている。能登半島地震もいきなり襲ってきたので今後も啓発に対して、力を入れていく。



石川県輪島市（災害派遣職員より提供）



※他に「福祉（移送タクシー）について」、「山江村スポーツ行事について」、「分館の合併及び消防団の編成について」質した。



北田 愛介 議員

■ 民意を反映した政策を ■ 復旧・復興の状況は



地域づくり懇談会 の内容を伺う

問

令和5年度地域づくり懇談会の出席状況とどのような質問要望があったのか。

答
総務課長

出席者総数256名で出席率は21%、昨年度は26%。出された意見等は157件で、道路整備、災害防止対策、支障木の除去、除草作業の依頼、交通安全対策、有害鳥獣対策、ケーブルテレビCS終了に関する質問等が出された。

問

出された要望や意見はどのように検討し回答したのか。予算化の状況は？

答
総務課長

課長会を開催して対策を検討した。既に対応済、対応予定のものが88件、現地調査をし今後対応予定30

件、熊本県等への要望が29件、地元で対応いただくものが10件で地元へ文書で回答している。

既に令和5年度補正で対応したこともあり、来年度財源の見通しがついた事業は当初予算に計上した。

問

懇談会に出席出来ない方や色々な年代の多様な意見を聴くために、村政モニター制度を再開する考えはないか？

答
企画調整課長

令和2年豪雨災害や新型コロナウイルス、物価高騰等村民生活に影響が出ているので村政モニター制度を活用したい。



行き止まりの県道

仮設住宅の状況と 今後の見通しは

問

発災後仮設住宅には25世帯が入居されていたが現状は。入居期限が8月に迫っているが見通しはどうか。

答
健康福祉課長

当初、25世帯55名が入居されていたが、現在は7世帯11名が残っている。村道、県道の復旧を待たれている。しかし、8月までには完了しないが、最短で出水期までには通行可能になる見通しである。今後、入居者への説明会を開催し、復帰いただく予定である。

問

村内の県道は2本とも行き止まりである。大規模災害時は近隣の町村へ抜けられない。迂回路の整備計画はあるのか。

答
総務課長

県営ではあるが、水無地区から球磨村に抜ける山江球磨線の林道が現在計画されている。



仮設住宅



白川 俊博 議員



■ ゴミ収集の現状

■ イベントからの経済効果

■ 建物耐震の現状

地域ゴミステーションの維持管理に補助金を

問 近年の可燃物、不燃物、資源物の排出状況は。

答 健康福祉課長

昨年度は739t、直近3カ年は減少傾向、今年度は若干増の見込み。

問

各地域のゴミステーションの建替えについては現在、村からの一部補助で対応だが、助成額を定めた独自の補助制度を設ける考えはないか。またゴミ袋は裂けやすい・破れやすいと聞く、更新の考えは。

答 健康福祉課長

各地域で維持管理をするのが本来と考えるが、住民の減少や高齢化により維持管理が問題となつてい、補助金については今後検討していく。

ゴミ袋はストックがあり変更する予定は今のところ無いが今後検討も考える。

相乗効果から活性化へ

問

昨年、つつじ祭り・栗まつり・宝物収穫祭とイベントが開催された。その成果は。

答 村長

イベントごとに大きな目的がある。自然環境をPRするつつじ祭り、栗を中心とした産業の活性化となる栗まつり、収穫が終わった慰労と年間を通じた活動の発表などが宝物収穫祭。

答 企画調整課長

つつじ祭りに約3,500名、栗まつりに約8,000名の来場者があった。

答 産業振興課長

各分野で宝物を発信することが出来た、来場者は約3,500名。



老朽化が目立つゴミステーション

問

イベントは村全体の活性化の一つとなる、期待される効果は。

答 企画調整課長

観光と特産物販売の相乗効果が図られており、1次産業である生産者の経営安定と生産意欲の向上につながるかと考えている。

地震に強い建物の耐震化は！

問

今年1月の能登半島地震の犠牲者の多くは家屋の倒壊によるもの、本村における建物耐震化率は。

答 建設課長

公共施設の耐震化率は100%、公民館などは54%、個人住宅は53%程度。

問

建物耐震促進に向けた取り組みは。

答 産業振興課長

宝物収穫祭は村外からの業者が村内の農産物を仕入れた出店を条件とし僅かだが生産者の所得向上につながっている。芸能演芸や抽選会無くとも来場者は以前と大差なかった。効果的な経費で本村の宝物を発信していく。

答 建設課長

公民館は山江村公民館整備事業補助金、個人住宅は山江村戸建て木造住宅耐震改修等事業補助金がある。危機意識の向上への補助制度を啓発して行く。



石川県輪島市 (災害派遣職員より提供)

令和6年第3回 山江村議会臨時会

令和6年3月28日、第3回臨時会を開催し、山江村総合振興計画後期基本計画の策定について、令和5年度補正予算3件の合計4件を可決しました。

質疑では、振興計画について横谷議員が、目標数値の整合性の見直しや今後の取り組みについて質疑。一般会計補正予算について、赤坂議員が各事業の繰越明許費の完了予定を質疑しました。

令和5年度 下球磨町村議会正副議長会議員研修

令和6年2月16日、令和5年度下球磨町村議会正副議長会議員研修が球磨村石の交流館「やませみ」で開催され当議会も参加しました。熊本大学法学部教授の伊藤先生を講師に「地方議員の役割～質疑と一般質問の違いについて～」を演題に実例を使っの講演がありました。



万江川土砂洪水氾濫対策事業議会説明会

令和6年3月11日、万江川土砂洪水氾濫対策事業における議会説明会が、役場大会議室で開催され、熊本県より説明を受けました。議会からは、流木や土砂の量や森林の大規模伐採等完成した時にどのような効果があるのか。溪流保全としての自然に配慮した工事を等の質疑や要望等を伝えました。



議員活動の一コマ



議会本会議タブレット活用

これまで6回に渡り山江村議会活性化調査特別委員会を開催しながら、議会タブレット活用を協議し、3月議会臨時会より本会議にてタブレットを導入することになりました。

現在ではこれまでと同様の紙での議案配布も併用していますが、今後タブレットのみの議会運営を目指していきます。



3月議会臨時会 本会議の様子（令和6年3月28日）

だんだんあ

丸岡公園のつつじが咲きほこり新緑が眩しい季節になりました。

村内では、真新しいランドセルと黄色い帽子をかぶった新一年生の元気な声が響き、山江中学校では、新しくなったブレザー型の制服と詰め襟にセーラー服が混在する光景が見られるようになりました。

今年も、入園式や小中学校の入学式に出席する機会を得ました。そこで出会ったのは期待に目を輝かせた子供達でした。新一年生の堂々とした入場は頼もしさを感じさせてくれました。

特に新しい制服に身を包んだ中学一年生は一段と大人に見えました。新しい制服は令和3年度の子供議会における「ジェンダールレス制服」導入の提案と、生徒主導によるアンケート等の実施を経て検討委員会が立ち上がり導入に至ったもので生徒の自主、自立を実感させてくれました。

「不易流行」という言葉があります。が、伝統的な本質をふまえながら、時代の変化に応じて新しいものを取り入れていくことの意です。

次代を担う子供たちには、山江村の美しい自然や先人が培ってきた精神や文化を守り引き継がなければなりません。一方目まぐるしく変化する社会情勢に柔軟に対応できる政策の立案と実行が必要です。

子供たちに明るい未来を託すべく今年大人たちは何をなすべきか、新しい年度の始まりに子供達の姿を見て意を強くした一日でした。

（文責 北田 愛介）

【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長／本 田 りか
委員／白 川 俊博
久保山 直巳
北 田 愛介